

第4回 円山川流域委員会 議事録（概要版） 会議の概要

日時：平成15年7月15日（火）13時00分から17時40分
場所：円山川防災センター研修室（日高町）
大臣管理区間下流域（豊岡市・城崎町地内）

1. 開会

庶務担当の㈱東京建設コンサルタントが議事進行を行った。

2. 委員長挨拶

円山川流域委員会委員長 藤田裕一郎（岐阜大学 流域圏科学研究センター教授）が挨拶を行った。

3. 議事内容

- 3.1 報告
- 3.2 流域の概要
- 3.3 現地視察ルートの確認
- 3.4 第5回以降の流域委員会の進め方
 - ・現地視察について
 - ・2回の現地視察を振り返って
 - ・情報の共有化に向けて
 - ・円山川への想い
- 3.5 現地視察
大臣管理区間下流域（豊岡市・城崎町地内）
- 3.6 その他

4. 審議内容および決定事項

4.1 報告

・第3回円山川流域委員会での審議決定事項について庶務より以下のことが報告された。

1) 第3回現地視察ルートの選定に関する条件や選定結果およびルートについて、委員長より委員に確認がなされ、委員の推薦する地点に河川管理者の推薦する地点も加えて現地視察を行うことについて審議され、了承された。

2) 以下に示す地点について、現地視察を行った。

円山川防災ステーション，野々庄～府市場，上ノ郷河畔林，浅倉・赤崎地区，蓼川井堰，出石川直轄上流端，六方川内水対策（小野川放水路），新田井堰，土淵より上流，八代水門・排水機場

3) 第4回委員会の進め方について、審議が行われ、以下のように了承された。

第4回委員会は、第3回委員会と同じく、事前に説明等の会議を行った後に直轄下流域の現地視察を行う。

現地視察箇所は、第3回委員会と同様に、前回のアンケート結果ならびに河川管理者からの推薦箇所等を踏まえて、委員長及び庶務が検討した結果を委員に事前に配布し、了承を得るものとする。

現地視察における説明は、第3回委員会と同様に、前回のアンケート結果に基づいて委員長及び庶務が依頼した委員および河川管理者による形式をとるものとする。

4) 第3回委員会以降の公表資料について、庶務より説明がなされた。

4.2 流域の概要

・山口委員より、改修前後の円山川流路の変遷比較図、天正元年(1573)までの円山川旧河道推定図、天保14年(1843)の円山川河口の絵図が提供され、それらについて説明がなされた。また、ひのそ島掘削の陳情の歴史等について説明が行われた。

4.3 現地視察ルートの確認

・河川管理者より、推薦箇所である塩津の堤防・一日市～宮島地区の堤防（豊岡市街地を囲む堤防）、旧円山川の状況（排水機場と軟弱地盤）、KTR 鉄道橋（桁下不足・老朽化）、奈佐川（上流端と過去の

破堤), 野上の湿地, ひのそ島についての説明が行われた。

- ・現地視察ルートの確認について以下のことが了承された。

- ・現地視察ルートは, 終了時間及び復路交通を考慮して, 円山川河口を除く地点の視察を行う。視察地点は以下の通り。
- ・ 軟弱地盤(八条ポンプ場), 塩津の堤防, 豊岡市内の廃川, コウノトリの郷公園, 六方川内水対策(六方排水機場), KTR 鉄道橋, 野上の湿地, 下鶴井のヨシ原, ひのそ島, 左岸側無堤地区, 奈佐川, 一日市~宮島の堤防

4.4 第5回以降の流域委員会の進め方

- ・第5回以降の流域委員会の進め方について議論が行われた。

<主な意見>

- ・菊屋島・中ノ島については, 埋立てや掘削などが行われており, 現地視察の地点とすべきではないか。(前田委員)
- ・来日山頂からの視察や舟を使った視察も良いのではないか。(池田委員)
- ・円山川の舟運等について, 説明を聞きたい。(前田委員)
- ・第5回以降の流域委員会の進め方について以下のことが了承された。

- ・ 次回の第5回委員会は, 9月上旬頃を予定とする。
- ・ 第5回委員会では, 直轄区間の現地視察で残された河口周辺の視察と情報の共有化に向けた議論を実施する。
- ・ 視察方法として, 舟を使った視察, 全体を見渡せる地点からの視察等について, 今後, 委員長, 庶務で検討し, 事前に委員に示して確認する。
- ・ 上流部の県区間の視察については, 第6回委員会以降に直轄区間の場合と同様の方法で実施する。
- ・ 第5回委員会に向け, 現地視察の感想, 意見, 河川管理者への質問等について, 各委員にアンケートを実施する。
- ・ 今後の情報の共有化に向けて, 第5回委員会の前に, 河川管理者より, 流域や河川改修等の現状把握について予定されている説明のメニューを提出して頂く。

- ・ 河川管理者より, 現地視察時にあった質問・意見について, 次の意向が示された。
現地視察時の質問・意見については, 今後, 系統だって円山川の現状説明を行っていく中で説明させて頂きたい。

また, すぐに回答できるものについては, その時点の対応とさせて頂きたい。

4.5 現地視察

- ・情報の共有化および流域の現状の把握を目的として, 4.3の審議結果に基づき現地視察を実施した。

<主な意見・質問>

- ・廃川を完全に埋めなかった理由はなにか。
- ・軟弱地盤は, どのあたりまで広がっているのか。(松田委員)
- ・野上の高水敷にひょうたん池のようなたまりを作る予定とかはないのか。(前田委員)
- ・ひのそ島の工事の現状はどのようになっているのか。(藤田委員)
- ・ひのそ島の掘削土はどこに持ってゆくのか。(垣田委員)
- ・一日市地区の堤防高は対岸と同じ高さか。(藤田委員)
- ・今後, 現状説明等において, 地下水収支と地盤沈下の関係やシミュレーション結果等について, 説明いただきたい。(畑委員)

以上の質問・意見などに対して, 現地で委員および河川管理者より回答及び見解が示された。また, 河川管理者から, 現地では詳細等直ちに答えられないような質問については, 今後委員会の中で説明していく旨が示された。

4.6 その他

- ・山口委員より, 前回現地視察時に出された「蓼川井堰ができるまでのその下流における用水状況どのようなであったのか。」との質問について, つぎのような説明が行われた。
「この地域において, 蓼川井堰ができるまでは円山川本川からの取水はなされておらず, 山際のわずかな田んぼで自然の流下水等を谷川から取り入れるという灌漑が行われていたに過ぎず, ほとんどが畑だった。また, 明治2年という蓼川井堰の建設時期は根拠がなく, 記録によれば工事が明治5年頃に始まり, 完成は明治9年と考えられる。」